



よ ば てんびょう  
四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和5年10月18日

第14号

じりつ ひび おく  
「自律」した日々を送るには・・・

せいかつ せんたく けつてい  
生活の中の選択と決定



せんじつ にんしょうしき たちあいえんげつかい みな こうどう かようびあさ  
先日の認証式で、立会演説会や認証式が始まる前の皆さんの行動について話をしました。火曜日朝  
しゅうかい しゅうかい うご てきせつ かんが  
の学年集会も同じです。「言われるまでは、動けない」「何が適切な行動か考えられない」・・・そんな生徒  
しゅうだん たいへんかな きけん  
の集団が中部中学校であるならば、それは大変悲しく、危険なことです。

えら はんだんりょく  
そこで、何を選び、何を決めるか・・・「判断力」について書くことにしました。

みんなと同じという「選択」は、正しいのか？

しゅんかん じかんわり  
私たちは、今この瞬間も「選択」し「決定」しています。時間割が決まっています、  
しじ  
チャイムによって&先生の指示によって行動している中学生の皆さんであっても、  
じつ ぐ かせ  
実は「選択」と「決定」を繰り返しています。（先生の言うとおりに、みんなと同じ  
まちが  
にしていれば、間違いないだろう・・・という選択をしているんですね。）



ゆうき しあわ ふこう  
自分だけの判断で行動するには勇気がいります。その選択が幸せに近づくのか、不幸に近づくのかわか  
か こ じれい さんこう たしゃ そうだん けつか  
らないからです。だから人は、過去の事例を参考にし、他者に相談します。その結果、「まあ、みんな  
(or いままで)と同じならば間違いはないだろう。」という選択・決定をしてしまうのですね。

とう  
しかし、今回のこと（集会等が始まる前の行動）は、『先生の指示がない&みんなと同じように、しゃべ  
つづ  
り続けている・・・』でした。どうでしょうか？「みんなと同じ＝正しい行動」とは言えませんね。世の中には、  
れい か し さべつじしょう  
こんな例がいっぱいあるのです。（トイレトペーパーの買い占めとか、多くの差別事象とか。）

たようせい だいじ  
「多様性」が大事なわけ

たいわ かせ  
一人の選択・決定は、間違っていることもある。だからこそ、ヒトは対話を重ねることで、より良い選択に  
いっけんへいわ  
近づけます。だから、いろいろな考えの人がいた方がいい。「みんな同じ」は、一見平和ですが、とても危険

なのです。多様な考えを持つ人が集まって、より良い選択をするために知恵を絞る。これはヒトという生物の武器であり、本能なのです。やっぱり、「自律」と「多様性」でしょ。

いよいよ始まった合唱練習の中で、何人の人が考え、判断し、意見を言えるのか？そして、話し合いを通して正しい選択ができるのか？個人の力とクラスの力が試されます。それが文化祭のだいご味なのです。

## 11月5日(日) ちくごうどうほうさいくんれん 5地区合同防災訓練に参加しよう！！

いつ来るかわからない大地震・津波等に備え、共同・中央・同和・港・常磐地区合同の大規模な防災訓練が中部中で開催されます。

大事なことではあるけれど、あまり真剣に取り組んでこなかったのならば、

この機会を活かしましょう。このような大きな規模で行われる訓練は、これ

を逃すとありませんし、何より地域の方と一緒に避難する・・・つまり、顔見知りの関係になることが大事です。

様々な催しも用意されているようです。できればご家族一緒に積極的な参加をお願いします。



## 第3回 コミュニティスクール 学校運営協議会を開催しました。

今年度3回目の学校運営協議会を開催しました。今回は、「中部の子どもにどんなふう育てほしいか。中部中の教育に期待すること（子どもにつけたい力）」について意見交換を行いました。

委員の皆さんには、それぞれのお立場から、様々な意見をいただきました。

- ◆一生懸命になれることを見つけられる、目標を定めその実現を楽しめる子
- ◆誰に対してもあいさつができる子 人と人とのつながりを大切にできる子
- ◆自分の思いや考えを表せる子、自分の思いを素直に出せる子
- ◆相手が望むことを先回りして考えられる子・・・思いやり、助け合いの心



- ◇個性を引き出す、見つけて伸ばす教育
- ◇社会人になるための基本（人としての決まりは守るなど）を身に付ける教育
- ◇継続することで、何かが身に付く。あきらめない心を育ててほしい。
- ◇大人の顔色を気にする・・・ステレオタイプの人間づくりはして欲しくない。

意見交換の後には、学校と地域でどんな連携ができるかについて話し合いました。コロナ禍で途絶えていた関係を、戻すのではなく見つめ直し、「地域とともにある学校」の実現に努力していきます。